令和７年度　本検査　思考力を問う問題　正解表

問題番号	1		
	(1)	(2)	
		(a)	(b)
正解	イ エ	自然は人間から独立した価値をもっているという考えまで至らず、人間への有用性で評価する段階のこと。	生物は生き延びるという目的をもつことや生態系に役割をはたすことから、自身が「内在的な価値」を有している。したがって、「真の環境倫理理論」に到達するためには、人間にとって有用かどうかではなく、自然のなかにある価値を認めることが必要だ。
配点	8	8	17
注意	完答とする。	同趣旨ならば正解とする。 部分点を与えてもよい。	採点基準の細部については各学校で定める。 部分点を与えてもよい。
計	33		

誉田進学塾
Method for Essential Capability & Creativity
誉田進学塾 ism
Method for Essential Capability & Creativity

問題番号			正　解	配点	配点および注意	計
2	(1)		あ 2　い 3　う 2　え 3	6		33
	(2)		お 4　か 2	6		
	(3)	①	き 6　く 3	5		
		②	ウ	5		
	(4)	①	け 4　こ 4　さ 3	6		
		②	し 4　す 6　せ 3	5		
3	(1)		エ	4		18
	(2)		ウ	4		
	(3)		(解答例) watched the fish and I felt more relaxed than before　(10 語)	10	各学校において統一した基準により適切に採点すること。 ［部分点可］	
4	(1)		イ	4		16
	(2)		ア	4		
	(3)		エ	4		
	(4)		(解答例) better result	4	問題の主旨に合っていれば点を与える。	

合計点	100

誉田進学塾
Method for Essential Capability & Creativity
誉田進学塾 ism
Method for Essential Capability & Creativity